

多摩市の皆さんと町民の皆さんのご協力で パノラマゲレンデに山野草植栽



6月11日、小雨の中で「入笠 花の里山ボランティア」事業が行なわれました。この日は町民ボランティアの皆さん約100名のほか、友好都市の多摩市からも70名のボランティアの皆さんにご参加いただき、スズランやマツムシソウ、レンゲショウマなど、入笠に自生する山野草9品種6200株を植えました。この事業は、山野草の宝庫「入笠山」を守り、育てていくことを目的に、年数回実施されます。



富士見高校の生徒さんや田端地区子ども会の皆さんのご協力に、富士見町の明るい未来を感じました。これからも多くの皆さんのご協力をお願いします。

6月の入笠は
話題満載!町の
話題

入笠山開山祭



山頂でお弁当を広げる登山者

6月5日、3年ぶりの晴天に恵まれ、およそ300人が参加して入笠山開山祭が開かれました。安全祈願の神事後、記念のピンバッジをもらった登山者は、木々の緑を楽しみながら、30分程かけて山頂を目指しました。頂上360度の雄大な景色は、まさに感動です!

アツモリソウ展開催



特有の濃い紫色をした釜無ホテアツモリソウ

5月28日から6月5日まで、パノラマスキー場山頂レストランで「第1回全日本アツモリソウ展」が開催され、およそ3千人が来場しました。アツモリソウはラン科の花で、愛好者が多く、中でも釜無溪谷にのみ自生する「釜無ホテアツモリソウ」は日本

が世界に誇る和ランの最高峰と言われていますが、現在絶滅が心配されています。

「アツモリソウを自宅で育てる場合は、日光、風通し、水はけに気をつけること。」とアツモリソウ愛好会のみなさんから教えていただきました。

